

Project ID	
公開日	2023/4/3

研究テーマ	折り返し鍛錬による組織形成				
担当教員・連絡先	梅澤 修	3871			
実施期間	2023 年度春学期 (4月~9月)	定	3年	2年	1年
		員	1名	1名	0名
<p>テーマ概要:</p> <p>日本刀や Damascus 刀は、層状組織や特徴的紋様で知られる。折返し鍛錬材の方が高い靱性を有するが、結晶粒および破面単位の寸法が折返し鍛錬材の方が小さいことから判断すると、主に結晶粒の大きさ、あるいは結晶方位分布の違いが、靱性に影響していると考えられる。本研究では、再建された薬師寺大講堂などに用いられた SLCM 鋼 (0.08%C) の鍛造材および折り返し鍛造材について、それらの集合組織解析、X線ラインプロファイル解析による転位分布推定を行い、変形への影響について考察する。</p> <p>参考文献：梅澤修，ふえらむ，6 (2001)，805-809.</p>					
履修済みであることが望ましい科目: 金属組織学 I					
スキル:					
その他:					